

地震・火山噴火予知研究協議会 地震長期予測ワークショップ

日時： 令和2年12月14日(月) 13:30~16:30

開催方法： web 会議システム(zoom)によるオンライン開催

主催： 地震(長期予測)部会, 企画部戦略室

プログラム:

13:30-13:35 (5分) 趣旨説明

石川直史(海上保安庁, 企画部戦略室)

1. 現在の長期評価手法のレビュー

司会: 石川直史

13:35-14:00 (20+5分)

「現在の長期評価手法のレビュー(過去・現在・将来)」

佐竹健治 (東大地震研)

2. 地殻内地震の新たな長期予測手法の提案

司会: 石川直史

14:00-14:20 (15+5分)

「GNSS データに基づく地殻内地震の長期予測手法について -西日本における歴史地震との比較と 30 年確率の試算-」

西村卓也 (京大防災研)

14:20-14:40 (15+5分)

「背景地震活動度と地殻内大地震の発生確率予測について」

尾形良彦 (統数研)

3. 海溝型地震の新たな長期予測手法に向けて

司会: 宍倉正展

14:40-15:00 (15+5分)

「どのような巨大地震が起こりえるか? 力学モデルと観測・実験データによる長期予測」

齊藤竜彦 (防災科研)

15:00-15:20 (15+5分)

「固着・すべりの現状把握・推移予測研究の長期予測への活用」

堀 高峰 (JAMSTEC)

15:20-15:35 (15分) 休憩

4. 総合討論

司会: 加藤愛太郎

15:35-16:30 (55分)